



## 2019年度静岡県勤協連第3回幹事会

県勤協連は9月14日(土)労政会館で第3回幹事会を開催し、当面する課題と活動を決定しました。その内容は次の通りです。

### 1. 日本勤労協第5回幹事会報告(8/9)

### 2. 第57回県勤協連研究集会の開催

①日 時 11月15日(金) 13:30~15:00

②場 所 静岡労政会館5F 視聴覚室

③演 題 子どもの貧困家庭と児童虐待の実態

④講 師 松田 正幸 氏  
養護老人ホーム相寿園施設長  
牧之原市菅ヶ谷1042

⑤参加規模 伊豆の国市4名 三島市3名  
富士市3名 清水地域7名  
静岡地区5名 焼津市2名  
掛川市3名 袋井市3名

計30名



### 3. 2019年度東部ブロック研究集会の開催

伊豆の国市担当 時期、開催内容は別途

### 4. 日本勤労協財政支援の物資販売

静岡県の販売目標は220個で2020年3月までの取組みとします。

### 5. 当面の日程

①県勤協連2019年度第4回幹事会

・12月13日(金) 15:00~

・清水地域勤労協(静岡市清水区小芝町2-8)

②第57回県政懇談会

・2020年2月 県庁本館

③県勤協連第58回定期総会

・2020年6月20日(土) (11/1に確定)

・静岡労政会館

## 各地区活動報告

### ☆三島市連合勤労協

#### 秋の会員親睦会バス旅行

##### 山梨県牧丘のブドウ狩り～忍野八海散策へ



ここは三連休の中日なので多くの観光客で騒然としていました。中国語英語、何語かわからない言葉が飛び交っていました。忍野八海を後に最後の目的地、御殿場の「えびせんべいの里」で買物をする盛沢山のコースでした。天候にもめぐまれ、沢山のお土産と楽しい思い出を乗せてバスは予定通りに三島に帰ってきました。幹事の皆さんご苦労様でした。会員の皆様お疲れ様です。

(通信員 山田信昭)

三島市連合勤労協では9月15日(日)に会員親睦バス旅行として、山梨県山梨市牧丘のブドウ園「御幸農園」巨峰のブドウ狩りを楽しみました。

次に石和でマルス山梨ワイナリーでは、出来立てのワインの試飲し昼食は石和の「ホテルふじ」でバイキングを食べて、キムチ専門店で購入、そこから一宮の「桔梗屋本社工場」で見学と買物楽しみ、バスは一路「忍野八海」へと進みます。



### ☆清水地域勤労協

#### 写真パネル展「原爆と人間」を開催

9月5日(木)～19日(木)は一とぴあ清水1階展示ギャラリーで写真パネル展「原爆と人間」を開催しました。

昭和20年8月、広島市、長崎市へ原子爆弾が投下されて74年余りが経過しました。原爆投下による当時の死者数は広島で約14万人、長崎で約7万人とも言われ、現在も約25万人余の被爆者が存在し、その平均年齢は約88歳を超えています。







かつての認定率は1%不足で、これを不服とした被爆者は集団訴訟を起し9割超が勝訴。そのため、2009年8月6日に麻生首相（当時）は被爆者団体と「8・6合意」を結びました。

ところが、その後も認定申請の却下が相次ぎ（国の却下処分を司法が覆したケースは8割超）再び提訴した被爆者たちの訴訟が今も続いているのが現状です。

「原爆症」の認定をめぐり、国と被爆者側が訴訟の場で争う必要がないよう解決をはかる「8・6合意」だったはずなのに・・・

会場には戦争と原爆の恐ろしさを改めて感じる悲惨な写真や絵が並べられました。

展示パネルから、峠三吉の詩を掲載します。

「よびかけ

いまからでもおそくはない。  
 あなたの本当の力をふるいおこし  
 平和を願う人々の涙をぬぐうのは  
 おそくはない」


戦後74年、風化させてはいけない体験者の記憶と記録を受け継いで行く時、真実は何かを見極めることが、ますます重要になっていきます。

この被爆者援護に関して1995年に「被爆者援護法」が施行、被爆者として認められると健康手帳が交付され、健康管理手当などの手当や自己負担分の医療費が支給されることになりました。

被爆者のうち、一定の病気にかかっている人は、その病気が放射線の影響によるものかを問わず、健康管理手当を受け取れ、さらに放射線が原因で発病し治療が必要な原爆症と厚労相が認定すれば、医療特別手当に切り替わる、この手当の受給者は今年3月末現在で7269人。被爆者の5・0%にとどまっています。

**原爆症認定をめぐる主な経緯**

1957年	原爆医療法施行。原爆症の認定制度スタート
86年	日米の合同委員会が、放射線量の推定方式を承認
95年	原爆医療法などを引き継ぐ被爆者援護法施行
2000年	<b>最高裁</b> 推定方式などで機械的に線引きすることを疑問視する判決
01年	<b>審査を開始</b> 放射線の影響を数値化した基準
03年	被爆者たちが各地で集団訴訟を提起
06年	<b>大阪地裁</b> 集団訴訟の初判決。被爆者側が勝訴し、以後も国敗訴が続く
07年	安倍晋三首相が基準の見直し指示
08年	<b>新基準の審査開始</b> 一定条件でがんや白血病などになった人を積極認定する
09年	<b>基準を改定</b> 積極認定の対象に慢性肝炎や肝硬変などを追加
8月6日	「8・6合意」 国と被爆者団体が集団訴訟終結を確認
10年	被爆者たちが大阪地裁などに一斉提訴
12年	<b>大阪地裁</b> 被爆者たちが勝訴。以後も国敗訴が続く
13年	<b>基準を再改定</b> 心筋梗塞などの距離要件を明確化



田中照巳 代表委員  
 坪井直 代表委員  
 麻生太郎 首相  
 厚生労働相  
 外務省 野田聖子

日本被団協

(参照画像右上：朝日新聞デジタル 2019.8.7)  
 (通信員 佐野明子)

## ☆静岡地区勤労協

### 幹事会で当面の活動を確認

静岡地区勤労協は9月20日(金)10時から労政会館で幹事会を開催し、当面する①日本勤労協第29回全国総会②第57回県勤協連研究集会③日本勤労協物資販売(喜多方らあめん)などの取組みについて確認しました。

無料法律生活相談(第3四半期)

◆相談日 10月26日(土) 11月16日(土) 12月21日(土)

◆時間 14:00~16:00

◆場所 静岡労政会館 5階会議室

◆弁護士 増本雅敏弁護士 ◆世話人 勤労協より出席

## 県連元会長 大石義夫氏逝去

1959年旧静岡市勤労者協議会の結成に参画して以来、1990年5月以降2006年6月まで、静岡県連会長1年、副会長14年を歴任し勤労協運動の歴史に多大な功績を残しました大石義夫氏(95歳)が9月7日逝去されました。

ご生前のご活躍に感謝を致し衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(通信員 福井 豊)

## ☆掛川市勤労協

### 夏休み子ども映画会

掛川市勤労協では、恒例となっている夏休み親子映画会を各地域で開催してきましたが、学童保育施設での開催が中心となったため、名称を「夏休み子ども映画会」と改め、8月1日から8月9日の間12カ所の学童保育所で開催しました。子ども621人、大人80人、小中学校の先生8人、役員延べ35人計744人と、大変多くの参加をいただきました。

ヒロシマの原爆による怒りと悲しさを表した「おこりじぞう」「消えさらぬ傷あと 火の海大阪」をはじめ、日本昔ばなし、ドラえもんなど、娯楽も入れて大変喜ばれました。



#### ○学童保育所の生徒さんの映画の感想文 3年生

「わたしはせんそうのえいぞうを見て、どうして、ひこうきからバクダンを落とし、多くの人になくなって、けいほうが出ると、にわにほったあなにかくれて、けいほうがかいじょしたら、また家にもどって、まいばんのようにそれがつづき、毎日大へんで、もしわたしたちの近くで(せんそう)おこるときがいつくるか分からないので、じゅんぴやたいさくがひつようだし、もうせんそうは、やってほしくないなー。と思いました。」

## 非核平和都市宣言アクション9を開催

掛川勤労協では、掛川市立図書館において8月22日から25日の4日間、非核平和都市宣言アクション9(9年目)「忘れてはいけない、悲惨な戦争記憶展」を開催しました。

広島平和資料館、静岡平和資料センターから借用した、広島原爆パネル、戦時物品、太平洋戦争沖縄戦パネル等の展示、DVDによる太平洋戦争の記録上映、また見学者のアンケートを実施しました。

令和年に入り、何かと近隣諸国等との政治的軋轢等新聞ニュース等をにぎわしており、見学者の平和への関心が高いのか、660人程度の入場者があり、盛況でした。アンケートも例年を大きく上回る76人の方から寄せられ、うち10代の方が17名あったことは驚きでした。



見学者の方々から、毎年続けてください、との言葉に勇気づけられました。



### アンケートの感想意見

・戦争がもう起こってほしくないと思った。いろいろな人がいっぱい死んでしまっていやだった。こ

れからも戦争がないようにしたい。

(11才 女性)

・あの当時を思い出して涙が出ました。私の兄も出征しました。母親は、どんな気持ちで送り出したことでしょう。

(92才 女性)

・戦争を知らない自分にとって、想像もつかないほどの恐ろしいことを実感して、二度とあってはならない事、ということをつくづく思う。

(52才 男性)

(通信員 岡田三郎)

## ☆袋井市勤労協

### 第11回平和写真展開催

「袋井市核兵器廃絶平和都市宣言」を市民と共に考える取組みとして、「袋井勤協・第11回平和写真展」を8月11日から10日間、市役所本庁舎内の市民ギャラリーで開催しました。

悲惨な原爆や戦争の悲劇をくり返さないため、風化されつつある戦争・原爆の真実を伝え、平和の大切さ・尊さを訴えました。



「原爆と大戦」や「沖縄戦」を伝える写真パネルと昨年の沖縄慰霊の日に浦添市立港川中学校3年生の相良倫子さんが朗読した『平和の詩・生きる』を大書掲出しました。

更に「あなたにとっての平和とは？」を問いかけ、「花びら」に来場者の平和についてのメッセージを記入して頂き「平和の樹」に、いっぱいの花を咲かせました。

又、静岡平和資料センターより借用展示した「赤紙・千人針・寄書日章旗・焼夷弾・衣料切符・地雷・手榴弾」等の戦時下資料品を見て、身内の思い出話をされた方もおりました。



広島平和記念公園「原爆の子の像・展示ブース」奉納の折り鶴作りにも多く皆さんが参加されました。

会場でのアンケートで寄せられた声の一部を報告します。

- ① 戦争は絶対に起こして引けない。世界中の人々が平等に暮らせる世の中を望む。(10代女子)
- ② 改めて戦争について知った。戦争を忘れないようにしたい。(10代男性)
- ② 戦争・原爆の悲惨さを語り継ぐことの難しさを感じていたが、この展示会を拝見できてよかった。(40代男性)



- ③ 事実を再認識するため毎年来ている。大変かと存じますが、開催継続をお願いします。(70代男性)

(通信員 太田強)

**静岡県でも自転車損害賠償保障の 2019年10月1日 から施行 加入義務化が決定!!**

子どもから大人まで“他人ごと”ではない

## 自転車事故による 高額賠償リスク

「ここが気になる!!」 自転車事故

① 自転車の事故による高額な損害賠償の例

小学生が自転車で帰宅途中、女性に衝突。転倒して頭を強打した女性は、意識が戻らず寝たきりの状態に…。

約 **9,500万円** の賠償命令 (2013年 神戸地方裁判所)

② 13~18歳の自転車運転者は事故の加害者になりやすい!

(イ) 人口10万人当たりの自転車運転中の加害者数(人)

年齢層	加害者数(人)
0-9	0
10-12	5
13-15	18
16-18	28
19-24	15
25-44	8
45-64	5
65-歳	2

年齢層別の人口10万人当たり自転車運転中の加害者数(平成26年)  
 ※人口は、総務省統計局「平成26年10月1日現在人口」を使用しています。  
 ※加害者数は、事故の相手方も死傷させた自転車運転者数を計上しています。  
 (出典) 公財「交通安全総合分析センター」

**2019年8月制度改正の こくみん共済 では、損害賠償に備えたタイプもございます。**

詳しくは、表面に記載のある各共済ショップへお問い合わせください。

けっぴり使える だからおすすめ!

ろうきんなら コンビニATMの 引出し手数料 **0円!**

お引出し手数料が無料のATM

セブン銀行 | ローソン銀行 | FamilyMart  
 イオン銀行 | ゆうちょ銀行 | VIEW ALTYE

あなたと わかちあう 次の一歩

さらに全国のMICS加盟金融機関(銀行・信用金庫等)で使えて ATMお引出し手数料を即納キャッシュバック!

らくきん